

平成29年美濃加茂市議会第1回定例会一般質問通告一覧

* 各議員が市政一般について質問します。

◇ 再質問以降の質問方式は、議員の選択により一問一答方式又は一括質疑方式で行います。

◇ 制限時間(答弁含む);代表質問…1時間30分以内 一般質問…1時間以内

No	議員名	質 問 要 旨
1	高井 厚 新生会 代表質問	1 1月29日の美濃加茂市長選挙の必要性について
		① マスメディアの「出直し選挙」という表現について、市長はどう感じられたか
		② 市長は12月8日の議会最終日に辞職すると表明。その意図を改めて伺う
		③ 「信を得た」は「どういう信」を得たと考えておられるのか
		④ 逆に、「信を得たことにならない」状況とは、落選以外にはどんなことか
		⑤ 6月1日までの任期。任期満了にかかる市長選挙に立候補するのか
		⑥ 上告趣意書は3月16日が提出期限と聞いた。提出は終了されたか
		⑦ 「上告棄却」または「上告破棄、2審への差し戻し」が考えられるが、いずれにしても市政は落ち着きを失いかねない。市政への全力投球は可能か
		⑧ 「日本一市長室にいない市長」その意味や意図。PDCAサイクルは形骸化しないか
		2 議会と共に歩むという市長の政治姿勢について
		① 「まああるいまち」という表現は情緒的でイメージし難い。具体的な姿を伺う
		② 5つの基本目標具現に向け、「議員との活発な議論を経る」とのことだが、その場と時間の持ち方の考え
		3 一般会計歳入予算について
		① ふるさと納税による寄付金や基金からの繰入金は、恒常的に読める財源ではない。ふるさと納税制度そのものへの考え方は
		② 市債残高を減らしていくことへの今後の対応、見通しは
		4 経営方針に沿った事業の在り方について
		① 委託費の額、委託先はどう決めているのか
		② もっと教育
		I 若者委員会事業は「故郷への関心向上と定住促進」に本当につながるのか
		II 郷土愛を育てる、カミーノ小学生向けのふるさと検定の準備はどう進んでいるか
		III F-0プランは、学校教育領域内のプランではなく、全庁的に展開するプラン。担当関係課の事業を一覧にして示せないか
		③ もっと活力
		I 市独自の施策や中山間地域農業の充実策は
		II 「小規模多品目栽培農業のまち」を市農業の売りにできないか
④ もっと安心		
I 防犯カメラの設置場所の今後の設置計画は(屋内には)		
II 市公用車への青色回転灯設置のその後の協議は		

No	議員名	質 問 要 旨
		<p>⑤ もっと交流 交流となれば、それは単ににぎわいを生み出すことを越えて、意味あること値打ちあることに触れ、学び確かめ合うというテーマが必要</p> <p>I 旧伊深村役場庁舎改修事業ではどんな交流が期待できるのか</p> <p>II 「移住定住促進事業」を裏打ちするのは市の魅力。魅力をどう把握しているのか</p>
		5 第5次総合計画の目標と政策について
		<p>① 共通目標「みんなの〇」</p> <p>I 地域がいきいきと活動できる仕組みの具体は</p> <p>II まちづくり協議会の全地区立ち上げへの見通し</p>
		<p>② 市役所の経営方針</p> <p>I 市政運営上の危機管理態勢は大丈夫か</p> <p>II 課を外部に設置したことについての評価と今後の移設計画</p>
		6 消防団活動の充実に向けて
		① 団員確保についての当局の考えと今日まで改善されてきた内容は
		② 操法県大会にむけた練習の他、消火技術の早期習得には問題はないか
		③ 操法大会に各分団が輪番で出場することについて、その後どう協議したか
		④ 団員確保に向け、年齢の引き上げという拡大策をどのように考えるか
		⑤ 自治会から協力金は本部にも一部上がっているが、額と使い道は
		7 国民健康保険会計の健全な運営について
		① 保険者が市町村から都道府県に移行することになった経緯や背景
		② 市町村の保険料決定までの主な手続きの流れ
		③ 平成29年度の被保険者は世帯数、人数とも、この数年漸減している背景
		④ 平成29年度被保険者への給付費は一人当たり最高となった。抑制に向けての取り組み
		⑤ 本市の国保料金の算定の4つの柱のうち、資産割をなくすことにどう対応するか
		8 (仮) 総合医療センター建設に向けての動き 建設に向って、ゆっくりではあるが動きを見せている総合医療センター。今でも「あそこに一体何が建つのか」の声があることについて
		① 売却譲渡の日取りは決まったのか。いつなのか
		② 総経費や売却価格は確定したのか
		③ 建設に向けた今後の主なスケジュール
		9 東中パソコンHD流出事案の対応について 去る2月25日、あつてはならない「廃棄パソコン流出に係る説明会」が開かれたことについて
		① 最終処分業者迄のプロセスを究明するということだが、今後の究明の段取り
		② 昨年8月の事案の報告が、今年2月までまるでなかった背景
		③ 流出事案は校長先生たちに知らせてあったか

No	議員名	質 問 要 旨		
2	酒向信幸 創政会 代表質問	1 市長の政治姿勢について ① 任期途中で辞職から市長選挙を終えて、これから任期までの間、市長としての役割をどう思うか ② 一期4年を終えようとしているが、この4年を自分自身でどうとらえているか		
		2 平成29年度予算編成について ① 第5次総合計画後期基本計画も3年目を迎える中「まあるいまち みのかも」の実現を目指して取り組まれているが、今後目指すところは ② 今年度の経営方針にある「もっと教育」「もっと活力」「もっと安心」「もっと交流」を「創生」というキーワードで結んだ「新たな価値の創造」とは何に結びつくのか ③ 「もっと教育」から、若者委員会事業は未来を担う人材教育と活力ある地域社会の形成に寄与することが目的とされているが、委員会の設立後に取り組む内容と、全国への発信の方法は ④ 「もっと活力」から、ふるさと納税寄付額は9億円を超える金額となったが、高額返礼品等での競争過熱について、総務省では改善の方針を検討されているが、本市の対応は。また、今後のふるさと納税の在り方は ⑤ 「もっと交流」から、新規事業が多くみられるが、目指すものは		
		3 生活習慣病について ① 糖尿病・高血圧・脂質異常症などの生活習慣病または重症化による糖尿病合併症・心疾患・脳血管疾患等の予防の目的としての啓発方法は ② 各種がん検診を受診した人の割合は低い水準で推移しているが、がんの早期発見、早期治療のためにはどのような啓発活動が必要か ③ ピロリ菌と胃がんの関連性について、どのように分析するか ④ 健康診断の受診で女性の20歳代、30歳代まででは6割台と低くなっているが、働く女性や子育て世代への周知の仕方は ⑤ 子宮頸がんを発症する恐れのあるヒトパピローマウイルス感染を抑制するためのワクチン予防接種が平成25年度から定期化（公費助成対象）となったが、その後副反応報告があり接種勧奨差し控えとなっている。本市の今までの取組みと今後の対応は		
		4 小規模特認校制度について ① 4月より制度導入になるが、現在に至るまでの取り組み方を振り返ってどうか ② 今後、制度継続していくためには、何が必要とされるか		
		5 防災関係協定書・覚書書について ① 災害時に締結先が的確な機能ができるのか、また、機能できるように所管である部署との協議会等は開催されているのか		
		3	牧田秀憲 真摯会 代表質問	1 選挙の結果をふまえて ① 今回の選挙で多くの方からの支持を頂かれた。率直な感想を ② 任期も残りわずかとなった。これまでの市長としての取り組みや、これからの未来への挑戦への取り組みは
				2 平成29年度予算編成について ① 第5次総合計画後期基本計画に掲げる諸施策を計画的に実施する中で、昨年引き続き創生というキーワードで結びつけるなどされているが、新たな価値の創造とは

No	議員名	質 問 要 旨
		<p>3 ふるさと納税の魅力について</p> <p>① 寄付窓口となるポータルサイトなど窓口増設により納税件数、金額ともに県内で最多となった。人気の秘密とは</p> <p>② 美濃加茂市民も、当然ふるさとを応援しようと他市へ納税されているが、現時点でおおよそどれぐらいの金額が納税されているのか</p> <p>③ 他市へ流れた税金はどの様な形で、いつ頃どれくらい戻ってくるのか</p> <p>4 平成29年度の職員の配置と組織について</p> <p>① ここ数年、定年退職の予定者も多くなっており、知識や経験豊富な職員の退職による組織力の低下などは大丈夫か</p> <p>5 学校と地域の連携について</p> <p>① From-0歳アクションプランにある、地域活動に意欲的に取り組む学校や地域住民が誇りとして地域の絆を深める学校などとあるが、地域とどのような取り組みをしているのか</p> <p>② 地方教育行政法の改正や社会教育法の改正で地域を創生する推進がされている。このような取り組みについての考えは</p>
4	前田 孝 日本共産党 美濃加茂市 議団 代表質問	<p>1 市長の所信表明及び新年度予算について</p> <p>① 歳入</p> <p>I 個人市民税対前年比110,000千円の増加になっているがその要因</p> <p>II 固定資産税 前年比169,800千円増加しているが、特に建物税収が大幅に増加しているがその要因</p> <p>III 一般寄付金を500,000千円とした理由</p> <p>② 新規事業</p> <p>I 企業版ふるさと納税推進事業</p> <p>II 移住定住促進事業</p> <p>III 未来の人材育成事業</p> <p>③ 拡大事業</p> <p>I バス路線対策事業</p> <p>II 自治会要望の処理率アップを</p> <p>2 ふるさと納税について</p> <p>① 現在のふるさと納税の件数、金額、返礼品種類の数</p> <p>② ふるさと納税の経済波及効果はどの様なところに出ているか</p> <p>③ 返礼品競争が拡大しているが返礼率はどの様に考えているか</p> <p>3 防災行政無線戸別受信機設置について</p> <p>① FM放送やケーブルテレビを利用した情報伝達についてはどの様に考えているか</p> <p>② スマートフォン利用については</p> <p>③ 防災ラジオの貸与について全戸にすべきと思うがどうか</p>

No	議員名	質 問 要 旨
		<p>4 廃棄パソコンのハードディスク流出について</p> <p>① ハードディスクはどのような経路で流出したか、また発表が遅れた理由</p> <p>② 廃棄証明が提出されているがその内容確認はどうしていたか</p> <p>③ 今迄に廃棄パソコンのハードディスクは何台廃棄処理されたか</p> <p>④ 今後の対応は（業者、学校関係者、生徒ほか）</p> <p>5 市長選挙について</p> <p>① 選挙に立候補した大義</p> <p>② 選挙結果</p>
5	坂井知足 創政会	<p>1 市職員の採用と時間外勤務等について</p> <p>① 市職員の採用状況 市職員の定数は、美濃加茂市職員定数条例により389人と定められている。そしてその条例の範囲で、毎年職員の採用が行われているが、平成28年度の採用状況はどうなっているのか。（保育士の採用、女性管理職の登用等）</p> <p>② 市職員の給与水準の現状 市職員の給料は、他市同様に国家公務員の給料表に準じて定められているが、県平均や他市と比較してラスパイレス指数（地方公務員の給与水準）は低い数値となっている。この原因は何か</p> <p>③ 市職員の時間外勤務の現状 事務事業の複雑多様化や事務量の増大等により、また時期によっては事務事業が集中することにより、勤務時間内での事務処理が困難なことがある。職員の時間外勤務の現状と削減の対策</p> <p>2 文化的施設の保存と活用について</p> <p>① 文化会館の今後のあり方 文化会館は開館以来37年が経過している。そして5年前の東日本大震災以後、特定天井（吊り天井）や耐震性において指摘を受け、「文化会館あり方検討委員会」に諮問し、答申を受けたところである。存続、耐震等今後のあり方</p> <p>② 旧伊深村役場庁舎の保存と活用 旧伊深村役場庁舎は、昭和11年3月に建設されここに81年が経過している。昨年、国登録有形文化財に登録され、今年度の補正予算に改修事業費が計上されている。登録の意義と改修後の活用</p> <p>③ 文化行政の推進体制の強化 本市の文化振興の拠点となる文化会館、文化の森、各地区交流センターなどの担当部署がそれぞれ異なっており、今後の文化行政推進体制の考え</p> <p>3 覚埜地区の土地利用（開発）について</p> <p>① 蜂屋町上蜂屋地内の覚埜地区では、平成24年当時「産業廃棄物最終処分場建設計画」があったが、その後に撤回された経過がある。現在、農地の大部分は山林化しており、この地区の今後の土地利用（開発）は</p> <p>4 「日本昭和村」の今後の運営等について</p> <p>① 平成記念公園「日本昭和村」は、平成15年にオープンし14年が経過している。この間、入場者数は年々減少し、開業初年度の150万人が今年度は25万人程度に落ち込んでいる。現在、今後の管理運営が「平成記念公園活性化協議会」で協議されていると聞くが、その内容。また入場料の無料化はいつから実施されるのか</p>
6	村瀬正樹 新生会	<p>1 期日前投票と選挙公報各々のあり方と二者の時間的關係について</p> <p>① 各地区、各投票所によって期日前投票の日数、時間帯に差がある事は、一票の重み平等性からして不適切ではないか</p> <p>② 選挙公報の家庭への到着日が遅いように思うがどう捉えているか</p>

No	議員名	質 問 要 旨
		③ 選挙公報の到着を早めることはできないか
		④ 選挙公報が到着してから期日前投票を始めることについての考え
		⑤ 今回の市長選、市議補選の費用と次回の市長選（市議補選含）の費用の額や差はどのようなか
		2 新可茂聖苑の落札率が異常に低かったことについて
		① 落札率77.08%、予定価格との差約15億円になったわけ
		② 機能、設備が想定レベル通りに設営されるのか危惧するがどうか
		③ 市の分担額はどれほどか
		④ 跡地の利用方法はどうか考えているか
		3 旧伊深村役場庁舎改修のあらましと今後の利用について
		① 改修目的、改修方法、完成時期、財源
		② 改修後の管理責任者と維持経費のでどころ
		③ 改修後の利用方法と文化財としての制限、しぼり
		④ 伊深交流センター新築計画の今後
		4 食材とくに野菜価格高騰による影響と給食費の改定の有無について
① 北海道東北の大雨による野菜価格高騰による影響はあったか。また献立、量等の変化があったのか		
② 現状の給食費での収支状況と今後の見通し		
③ 本市の給食費の値上げの必要の有無。併せて他市の状況		
7	柘植宏一 新流	1 市長の政治姿勢について
		① 1月の市長選挙の総括と新聞報道
		② 5月の市長選挙への出馬と抱負
		2 地域自治と市民協働推進について
		① 全市まちづくり協議会設立の工程表
		② まちづくり協議会と自治会等の役割分担
		③ 市民活動サポートセンターのまちづくり課への移管
		④ 自治基本条例制定
		3 児童の放課後対策について
		① 学童保育待機解消事業としての地域連携モデル事業
		② 楽習ひろば及び外国人児童生徒学習支援事業の位置づけ
		③ 学童保育のあり方再検討
		④ 学校教育と放課後等デイサービスとの連携について
8	渡辺義昌 創政会	1 ふるさと納税の現状と計画、返礼品競争について
		① ふるさと納税の受入件数及び受入額と申込件数の多い返礼品
		② 申込者の地域（都道府県）と人数、寄付金額

No	議員名	質 問 要 旨
		③ ふるさと納税の受入状況は件数で3倍、金額で4倍弱と大幅な増加となっているが、その要因
		④ 本市をアピールするおすすめの返礼品
		⑤ ギフト券などについて問題になっているが、本市の考え
		⑥ 種類と申込件数、金額、調達コスト
		⑦ 地方の自治体としては是非残してほしい制度であるが、返礼品競争や富裕層寄りの制度と言われているが、市としての見解と今後の計画
		2 中学校の自転車通学路について、安全確保について
		① 各中学校の生徒数及び自転車通学数
		I 自転車通学の要件
		II 最近の登下校時の事故の件数及び内容
		② 平成25年12月道路交通法の一部改正により、自転車の通行できる路側帯が限定され、左側通行となったが、指導はどの様になっているか
		③ 西中学校前の道路、東中学校西の道路、古井街道の自転車通学の通路（左走行）はどの様になっているか
		④ 西中学校前の道路、東中学校西の道路、自転車の交通量も自動車の交通量も多い古井街道について自転車通学路と分かるような標示ができないか
⑤ 自転車の事故は出会いがしらの事故が多いとうかがっている。危険な箇所をどのように把握しているか		
⑥ 通学道路について、側溝の老朽化や舗装の老朽化、上下水道などの工事、埋立後の段差が自転車の走行に影響する場合がある。教育委員会としての通学路管理の基準はあるか		
9	金井文敏 市議会 公明党	1 視覚障がい者用誘導ブロックの設置基準について ① 市内の設置状況 市内各所に点字ブロックが設置してあるが老朽化が進んだ物から色々あるが、現在どれだけの場所に設置してあり管理はどうなっているのか ② 設置基準の現状 点字ブロックは歩道に設置する位置まで細かく配慮がなされ、工事段階から様々な考慮がなされて設置される視覚障がい者誘導用ブロックの一つだが当市の設置基準はどうなっているのか ③ 今後の設置計画 市内各所の設置状況をもみても途中で終わっている。計画途上にみえるが工事する様子もない。障がい者目線に立った施策が必要と考えるが今後の設置計画はどうなっているのか 2 市営住宅の入居基準について ① 年1回の募集 当市の入居者の募集は年1回であるが、2月に応募しても入居できるのが翌年になる場合がある。設管条例に「現に住宅に困窮していることが明らかであること。」とある。入居に最長1年かかるのはおかしいのではないかと。近隣の市町は随時募集としているところが多いようだ。年1回にするメリットとデメリットについて検討はしているのか。 ② 市内在住の連帯保証人 非常に重い責任を負う連帯保証人2名が必要とある。それゆえ、ちょっとした知り合い程度ではとても引き受けてくれない。やはり両親をはじめとする親族が中心になるが市外在住では条件を満たさない。どのような理由で決められたのか ③ 連帯保証人の管理基準 条件に入居者と同様以上の収入があり、確実な保証能力を有する方とあるが、一度入居すれば連帯保証人を更新することもない。入居するときのハードルは高いが入ってしまえばあとは緩いでは当市の思惑と反するのではないかと

No	議員名	質 問 要 旨
10	渡辺孝男 真摯会	1 美濃加茂市交通安全推進計画について ① 市民の安全を守ることが第一であるが、自治会要望の中に、道路環境整備等に関する項目はどれだけあり、その実施（対応）率はどの程度か ② 道路環境整備の中に、外国語表示による注意看板とあるが、具体的にどの様なものか ③ ボランティアで登下校を見守る方も交通安全のため努力をされているが、もしもの時の保険の加入等の保障はどの様になっているか ④ 交差点の人身事故防止対策として「歩車分離式信号」があるが、本市も公安委員会に提案してはどうか
		2 成年後見制度の本市の取り組み状況について ① 高齢化が進む中、本市の成年後見制度の取り組み及び利用状況は ② 制度を近隣自治体と連携して行う考えは ③ 成年後見制度利用者には、主に知的障がい者等と、高齢者の2つが多いと思われるが、本市の対応はどの様になっているか ④ 他市では、超高齢社会に備え、市民後見人養成講座が開催をされているが、本市の計画はあるか
		3 地域包括ケアシステムについて ① 市内3か所の長寿支援センターが開設され2年が経過するが、高齢化が進み利用者が増える中、移動時間等の問題も含めセンターの増設も必要と思うが、市の考えは ② 地域包括ケアシステム構築へ向けた全国の取り組み事例をみると、行政だけでなく地域主体の取り組みが紹介されている。市内にも健寿会、サロン等多くの団体があるが、協力要請はしているか
		4 高齢者の就労支援について ① 定年退職後に、就労されていないが、それまでの経験や高い技術、技能を生かそうとされている方が、市内にも多数おられると思うが、本市としてそういった方々を支援する考え、施策はあるか ② 国は、平成29年度予算に高齢者就労支援策（生涯現役促進地域連携事業等）について計上をされているが、市として制度を活用していく考えは
		5 若手職員考案の『梨のスイーツ』について ① 若手職員がCS実践活動で考案された山之上の梨を使ったスイーツを、市の銘菓にする考えは ② 加茂農林高校もスイーツを手掛けているが、本市として、支援等、何か協力することを考えていないか
		6 食品ロスの低減について市の考えは ① わが国では、一人当たり一日茶碗一杯（約130g）の食べ物が廃棄されているとのことだが、本市では、食べ残し廃棄量（生ごみ）は把握されているか ② 食品ロスには、食材の買い過ぎや、消費・賞味期間、また外食時での食べ残し等、様々な要因がある。市民に啓発を促し、食品ロスを減らす事も重要であるが、本市の考えは ③ 他市では、食べ残し量を減らすために、独自に「もったいない条例」を制定しているが、本市も取り組んではどうか

No	議員名	質 問 要 旨
11	日置祥子 日本共産党 美濃加茂市 議団	1 国民健康保険について
		① 国保が都道府県化されるにあたっての今後のスケジュールを示して欲しい
		② 都道府県化されることによって基金はどうなるのか
		③ 平成27年度からの保険者支援制度投入により、国は一人当たり5,000円の財政効果（下がる）としているが、当市では逆に上がっているのはなぜか
		2 子どもの保育について
		① 待機児童をどのように定義づけているか
		② 過去5年間の待機児童の実態（4月1日現在）を地区別に
		③ 保育現場の保育士配置基準と実態
		④ 保育園の施設整備計画について具体的な説明を
		3 自衛隊と教育現場について
		① 中学生の職場体験学習ではどのような職場に行っているか
		② 過去5年間で自衛隊に行って職場体験をした生徒の実数及び学習内容は
		③ 進路について、陸上自衛隊工科学校からの募集があるか。応募状況は
4 市長の政治姿勢について		
① 特定業者との癒着の政治的道義的責任をどう思うのか		
12	佐合広和 新生会	1 市長の政治姿勢等について
		① 特定業者と複数回会食した事についての現在の所見を問う
		② 自民党岐阜県連からの除名処分などについての所見を問う
		③ 坪内逍遥の胸像にポロシャツを着せたことについての所見を問う
		④ 「ぼくいち」との連携協定などの新聞発表についての所見を問う
		⑤ 今回の市長選挙の意味についての所見を問う
		⑥ ISO9001の考え方から、西中学校プールの管理について当時と現在の在り方を問う
		⑦ ISO9001の考え方から、浄水機設置の一連の事務処理経過を問う
		⑧ 馴染みのない業者に浄水機を設置させた経緯と理由を問う
13	渡辺益巳 創政会	1 新庁舎建設整備事業関係について
		① 新庁舎建設整備事業の今後の正確なスケジュール
		② 新庁舎建設の予定地、位置、候補地の条件はどのように確定していくのか
		③ 建設条件で従来型か複合対象物とするのか、また総務省の指針に基づいた職員の人数を加味した延べ床面積と敷地面積を聞いているが、この数値は変わらないか
		④ 財政計画で基金積立金と国の財政措置の制度について、本体工事の1平方メートル当たりの予定工事単価
		⑤ 新庁舎建設にともない民間が資金調達し建設から運営までを担うPFI事業に対する考え
		⑥ 現状の本庁舎で被災した場合、災害対策本部を設置し事業を継続できるBCP施設として代替可能な建物はあるか

No	議員名	質 問 要 旨
		<p>2 旧生物工学研究所跡地の土地譲渡について</p> <p>① (仮)総合医療センターの整備に伴う社会医療法人厚生会との土地譲渡に関する協議について、随意契約による売却で価格も示されたが、具体的な契約時期は</p> <p>② 土地譲渡について藤井市長と山田理事長との協議は行われたか</p> <p>3 公共施設総合管理計画事業について</p> <p>① 平成26年4月に総務省から総合管理計画の策定要請があり施設経営課で取りまとめ中と思うが、その総合管理計画はいつ出来上がるのか</p> <p>② 前平市民プール管理棟は以前外壁が剥離し落下する等危険な建物で、解体が必要。その時期と工事費</p> <p>③ 下古井交流センターは耐震診断未実施であり、地域のサークル活動に活用されているが危険。解体の時期と工事費</p> <p>④ 旧学校給食センターは平成20年から使用していない。解体が必要。その時期と工事費。敷地面積がある更地にして土地活用か売却をする考え</p> <p>4 のぞみ教室新築事業について</p> <p>① のぞみ教室には入室希望者が多いと聞いているが、現在の待機者は何人か。また4月からの入室者は何人か</p> <p>② 平成29年度設計業務、30年度建設工事。建築面積は250平方メートル。建物の間取りと全体の工事費はどれだけか</p>
14	山田 栄 真摯会	<p>1 坪内逍遙事業について</p> <p>① 山つばきの部屋の小学校における活用状況及び一般の見学状況</p> <p>② 文化の森での展示でなく、太田地区に建物を造り広く一般人に公開する方針を持つ考えは</p> <p>2 かわまちづくり関連について</p> <p>① 太田小学校に有る国定公園の碑を中之島公園に移動させる考えは有るかいなか(逍遙公園内に有るもの)</p> <p>3 加茂川総合内水対策事業について</p> <p>① 前平公園雨水貯留施設の施設は当初、4,800平方メートルとしているが、大きさ、能力についてどの様に考えているか(拡大等)(先に説明をいただいた県へ貸与している畜産センター返還後の用地も考えておく必要はないか)</p> <p>② 加賀池、御手洗池の改修も今後取り組む必要はないか。市民プール、テニス場、火葬場等の関連は</p> <p>③ 雨水貯留施設の清掃委託はどの様に業者を決めていくのか</p> <p>4 西体育館建て替えの件</p> <p>① 平成28年11月末には担当課より建て替えは約5億円を考えているが国の補助金が認められないと財源が苦しく前を進めない。最終的には市単独事業になってもと考えるが、補助金確保に全力で努力していくと伺っていた。平成29年度の当初予算は国庫支出金3,000万円、市債2,700万円、一般財源1億5,031万円の合計2億731万円が計上されているが、今後の予算財源についての考え</p> <p>② 施設に隣接する消防詰所、車両倉庫の建て替えの考え</p> <p>③ 施設における駐車場用地は少ないと思うが、用地の拡大の考え</p>

No	議員名	質 問 要 旨
15	片桐美良 新生会	1 可燃ごみと食品ロスについて
		① 近年、当市からささゆりクリーンパークへの搬入可燃ごみ減量化の実態
		② 事業者への減量化、資源化及び適正処理を進めるため協力、指導はいかにされているのか
		③ ごみ質分析は事業系もされているのか
		④ 宴会などでの食べ残しを減らす運動推進への所見
		⑤ 給食センター
		I 残渣の平均日量及び処理方法と処理経費は
		II 残渣のエコフィード化
		III 食育で生産者、調理者、命をいただく感謝と食べ残しを減らす教育はいかにされるか
		2 移住定住について
		① 移住・定住推進にまずはPRだが、同時に受け入れ支援体制の整備も必要と考えるが所見を伺う
		② シティプロモーションビデオの活用
		③ 平成28年度市内転入者のうち、50歳未満で2人以上の世帯数
		④ 定住の観点から、3世代住居の新改築や隣接地に新居を新築する場合の補助政策はできないか
		⑤ 市内にとどまり家業を継ぎ製造業、小売業、サービス業、農業等に従事する若者への市独自政策
		⑥ 相談窓口に専門相談員を配置しては
		3 教職員の勤務体制について
		① 本市の教職員の勤務実態をどの様に把握しているか（残業時間・ノー残業デイ・年次有給休暇の取得状況・その他）
		② 代休指導実態
		③ 部活動の外部指導者活用状況と今後の方向性